

単純業務がなくなる?! 10年後も生き残るための RPAを今、学ぼう!!



単純業務がなくなる?! 10年後も生き残るための RPA を今、学ぼう!!

最近、ビジネスシーンで広まりつつある

「RPA (Robotic Process Automation)」が事務にもたらす影響について、
RPA 人材の育成を進めている(株) MAIA の方をお招きし、
わかりやすく説明していただきます!

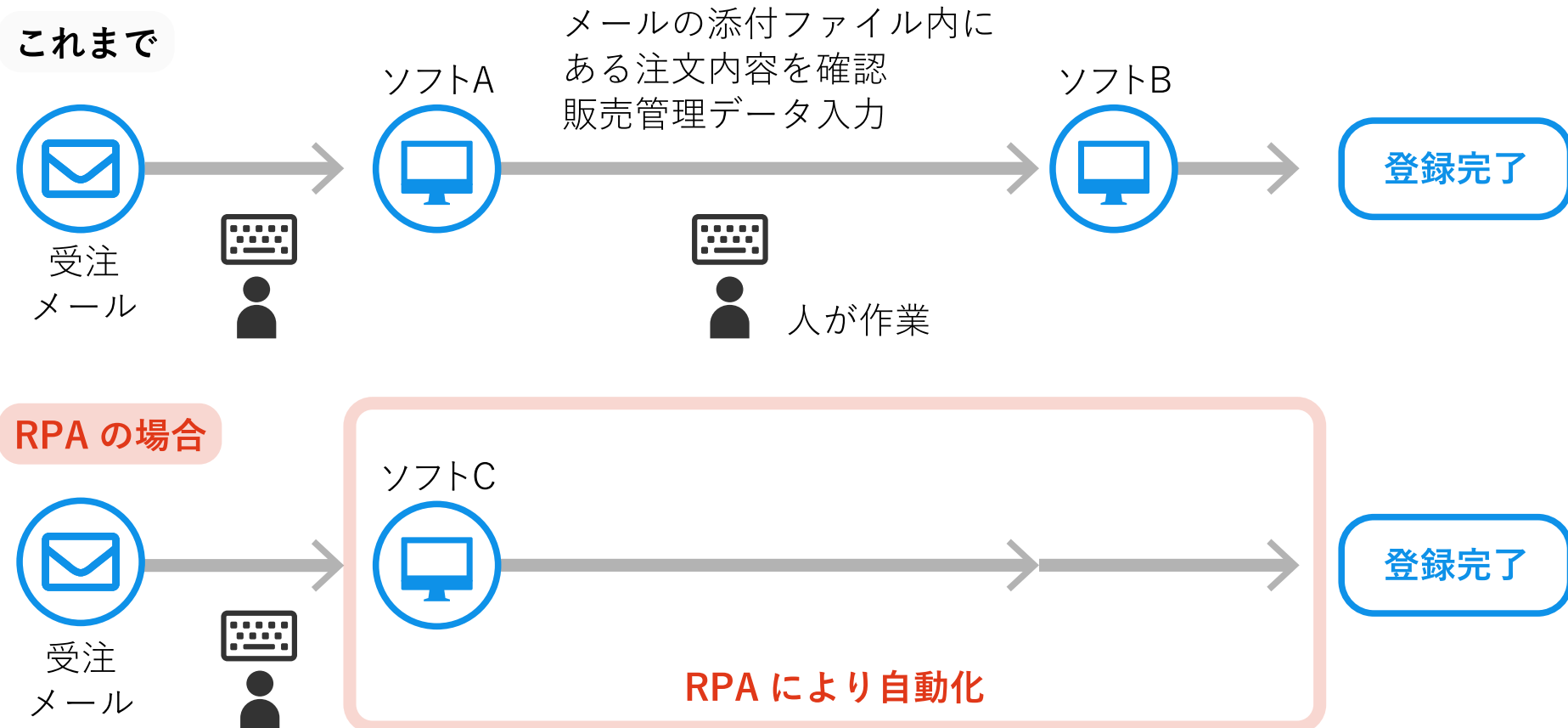
！ RPA ってそもそも何？

RPA とは、「Robotic Process Automation (ロボティック・プロセス・オートメーション)」の頭文字から取った略語です。ロボットとつくので、人の代わりに車工場でロボットが作業しているイメージや人型ロボットのイメージがわかりますが、RPA はそれとは異なります。

RPA のロボットは「仮想ロボット」を意味しており、PC 上で人が操作する代わりに動く、「自動プログラム」のことです。例えば、「取引先からのメールに添付された自社注文書の内容を確認し、販売管理システムに入力し直す」という作業を考えます。この場合、これまででは、メールソフト A を使用して、取引先からのメールに添付されたファイルの注文書の内容を確認。そして、販売管理システムであるソフト B を使用して、注文内容をコピーするなどしてデジタルデータとして入力し直すという作業をしていました。

しかし、RPA は、このような一連の業務のなかで、人の作業が入っていた部分を自動化 (Automation) する仮想ロボットです。RPA であるソフト C を使用すれば、メールに添付された自社注文書が確認された段階で、添付ファイルの注文内容を取り出し、自動で登録してくれます。これを図解にすると、下記ようになります。

RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) とは

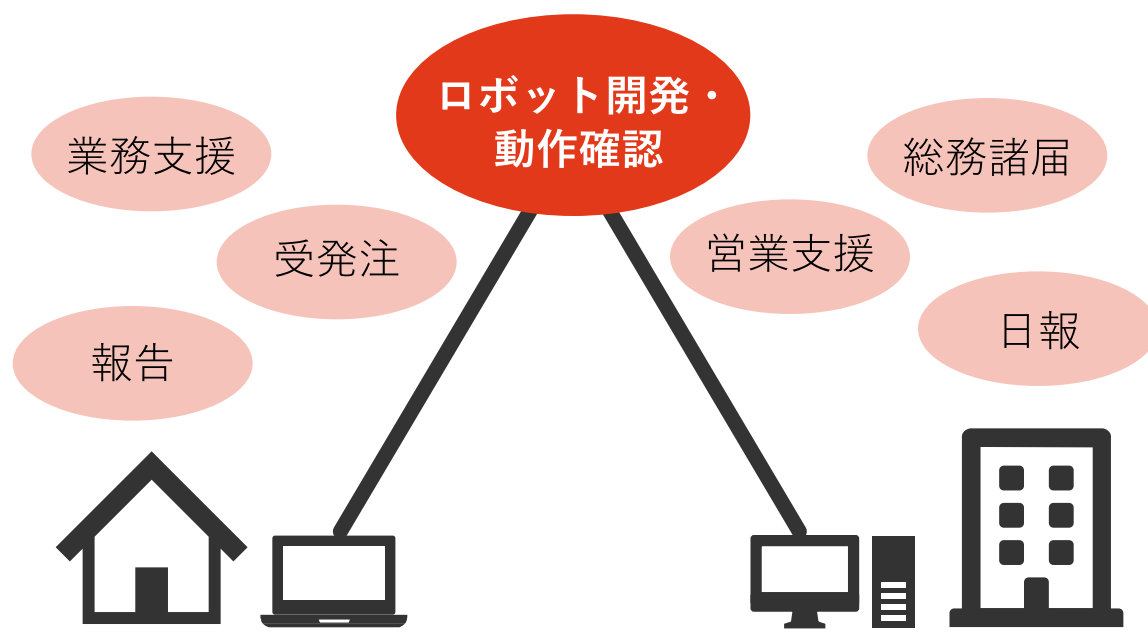


このように事務の仕事としてやってきていた手作業の部分やチェックの部分、さらに自動化するシステムが RPA です。とくに、異なるソフトウェア間の操作をまとめる作業や、データチェックなどでその効果が期待されています。

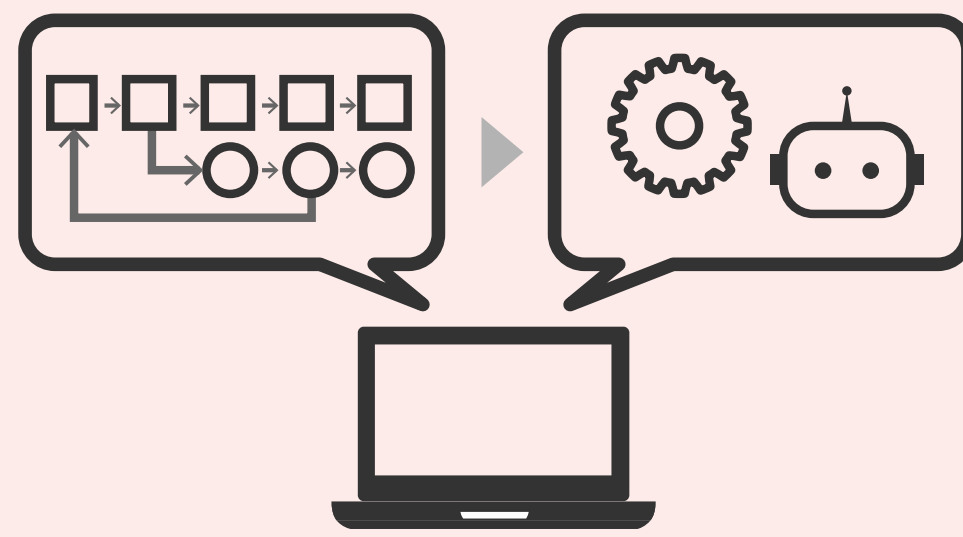
！ RPA で、これから仕事はどうなるの？

労働人口が不足し、慢性的な人手不足となっていることもあり、今、RPA という技術は非常に注目されています。そして、かつてパソコンがそうであったように今後、普及することが期待されています。そして、RPA の普及は、これまでの事務の仕事が大きく変えてしまう可能性があります。ポイントは以下の3つ!!

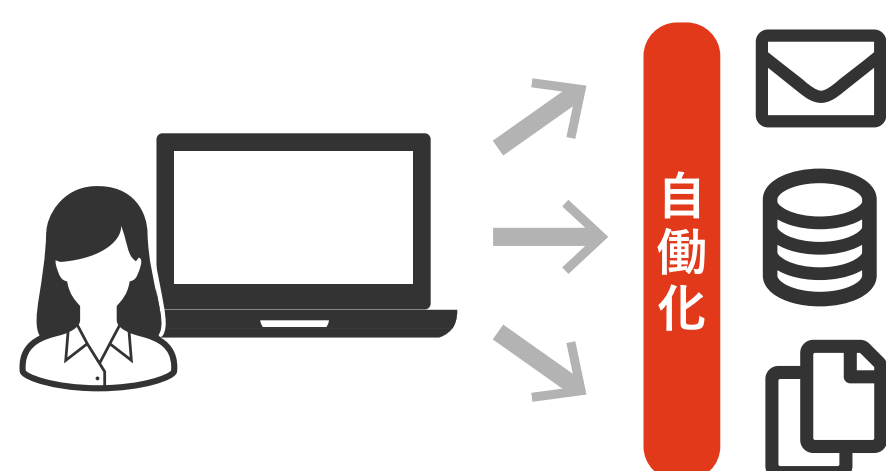
① RPA の活用で、事務職であっても職場に出向かず、在宅などリモートワークが可能になる！
(自宅で事務作業をしてくれるロボットを開発して、会社のサーバーで彼らが仕事してくれる)



② RPA の開発は、今までのプログラミングのような難しいものではなく、フローチャートなどをつかって視覚的・直感的にロボットを作れるので、女性にも向いている!



③ 現場の事務をよく知っている女性だからこそ、本当に必要なロボットを作れる!



本講座では、現在加速度的に広がっている「RPA」導入とその現状をお伝えし、RPA という新しい技術によって変わる仕事の形や、現在不足している RPA 人材の地方での育成とその募集についてお話していただきます。

④ 予定定員:各回先着20名 ⑤ ①13:30~ ②15:30~ ⑥ 無料